

令和元年度 京都府総合評価競争入札委員会（第2回）議事概要

開催日時及び場所	令和元年7月22日（月） 午後1時30分～3時 ホテル ルビノ京都堀川（朱雀の間）	
出席委員氏名（職業）	委員長 谷口 栄一（京都大学名誉教授） 委員 川上 卓也（近畿地方整備局京都国道事務所副所長） 委員 武田 字浦（国立明石工業高等専門学校准教授）	
議 事 概 要	<p>1 開会 [あいさつ（佃総務部副部長）]</p> <p>2 議事</p> <p>（1）平成30年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について意見を聴取 <p>（2）平成30年度抽出事案報告について [非公開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度における総合評価競争入札（簡易型）試行案件のうち3件を抽出し、実施状況を報告 	
委員からの意見・質問 とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり

別 紙

2 議 事

(1) 平成30年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について

意見・質問	回 答 等
◇ 資料1の簡易型開札結果概要において、建築一式の件数が0となっているが、これは簡易型においては0件ということか。	◇ 建築一式工事については、工事件数自体が多くなかったこともあり、昨年に引き続き、簡易型では実績がありませんでした。なお、規模の大きな工事は、標準型で実施しています。
◇ 簡易型開札結果概要について、昨年に比べ件数が増え、平均参加者数が減っているが、総合評価として入札の件数が増えたことによるのか。それとも単純に参加者が減ったということか。	◇ この表については、総合評価競争入札の件数だけをピックアップした数値を記載しています。一般競争入札を含めた全体では、1,200件ほど実施し、平成29年度と比べて約1割増加しています。価格競争も含めて件数が増えたこともあり、総合評価だけでなく、全体的に入札の参加者数が減少したというのが30年度の状況であり、総合評価競争入札でも同様の傾向を示したものと考えています。
◇ 業者数は減っているのか。	◇ 入札参加資格を有する業者数は、ほぼ横ばいです。
◇ 総合評価の方が、工事成績平均点が良くなっているのか。	◇ 総合評価を含めた全工事の平均点は、74.5点。そのうち総合評価を抜き出すと76.8点であり、総合評価の方が、工事成績平均点が良くなっていることが分かります。なお、総合評価を除いた価格競争のみの工事成績点の平均は、全工事の平均よりも下がりますので、実際の相対差はもう少し大きいと考えています。
◇ 資料1の簡易型開札結果概要において、逆転件数が、土木一式で見ると地域活性型Aタイプが非常に多い傾向があり、29年度もおそらく同じ傾向だと考える。 入札価格にあまり差がない中で、地域活性型Aタイプで逆転が発生しやすい原因は何か。	◇ 地域活性型は、落札者決定基準において選択科目に施工計画の配点があり、ここで一定の差がつかない場合、逆転の要素は必須項目にあると考えられます。 必須項目には、表彰がありますが、全者が表彰されているわけではありませんので、表彰による加点がある場合は、逆転の可能性が高くなると分析しています。 一方、表彰の有無が、落札者決定のポイントになっている事例も多いことから、配点が重すぎると偏りが出てくるのが想定されますので、運用においては、工夫も必要と考えています。

令和元年度第2回京都府総合評価競争入札委員会次第

日 時 令和元年7月22日（月）

午後1時30分から3時30分

場 所 ホテルルビノ京都堀川

朱雀の間

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）平成30年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について

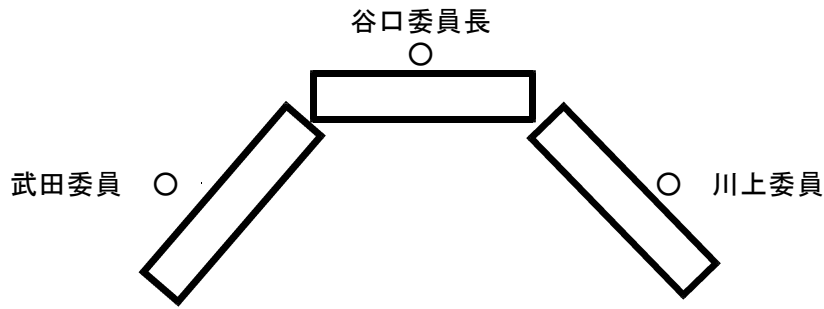
（2）平成30年度抽出事案報告について

4 閉 会

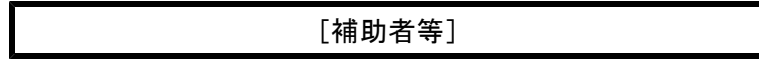
令和元年度第2回京都府総合評価競争入札委員会座席図

日時：令和元年7月22日

場所：ホテルルビノ京都堀川
朱雀の間



○浅野課長
○佃副部長
○関西理事
①山城北土木事務所
②丹後土木事務所
③中丹東土木事務所



[補助者等]

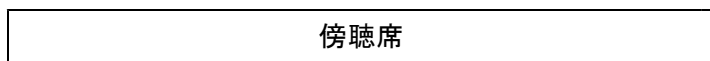
○植田主幹
○西村担当課長
○堀本担当課長
○補助者
○補助者
○補助者



○ ○ ○ ○ ○ ○



○ ○ ○ ○ ○ ○



傍聴席

○ ○ ○ ○ ○ ○



—
出
入
口

平成30年度総合評価競争入札の試行状況等について

1 簡易型

◆開札結果概要

下段():H29年度

対象工事	分類	件数	平均参加者	平均落札率	逆転件数 [割合]	くじ発生件数 [割合]
土木一式	技術重視型	20 (12)	4.0 (8.2)	89.8% (89.8%)	8 [40.0%] (8) [66.7%]	0 [0.0%] (1) [8.3%]
	地域活性型A	128 (89)	4.7 (7.7)	90.5% (89.7%)	23 [18.0%] (36) [40.4%]	8 [6.3%] (5) [5.6%]
	地域活性型B	3 (2)	1.7 (10.0)	92.3% (88.5%)	0 [0.0%] (1) [50.0%]	0 [0.0%] (1) [50.0%]
舗装	技術重視型	2 (1)	7 (23)	88.7% (88.9)	0 [0.0%] (0) [0.0%]	0 [0.0%] (0) [0.0%]
	地域活性型A	3 (4)	19.3 (10.5)	88.6% (89.0%)	2 [66.7%] (2) [50.0%]	1 [33.3%] (1) [25.0%]
	地域活性型B	12 (2)	8.6 (12.5)	87.7% (88.1%)	1 [8.3%] (1) [50.0%]	7 [58.3%] (1) [50.0%]
建築一式	技術重視型	0 (0)	(0.0)	(0.0%)	0 [0.0%] (0) [0.0%]	0 [0.0%] (0) [0.0%]
	地域活性型A	0 (0)	(0.0)	(0.0%)	0 [0.0%] (0) [0.0%]	0 [0.0%] (0) [0.0%]
	地域活性型B	0 (0)	(0.0)	(0.0%)	0 [0.0%] (0) [0.0%]	0 [0.0%] (0) [0.0%]
建築設備	地域活性型(設備)	3 (5)	7.3 (9.4)	91.5% (90.6%)	1 [33.3%] (1) [20.0%]	1 [33.3%] (0) [0.0%]
	合計	171 (115)	5.1 (8.2)	90.2% (89.6%)	35 [20.5%] (49) [42.6%]	17 [9.9%] (9) [7.8%]

※落札決定日基準

◆逆転数内訳

下段():H29年度 単位:件

		評価点順位				計	
		1位	2位	3位以下			
入札額順位	1位	125 (61)	11 (3)	0 (2)	136 (66)	逆転計 35 (49)	
	逆転	2位	12 (10)	0 (0)	0 (1)		12 (11)
		3位	4 (8)	1 (0)	0 (0)		5 (8)
		4位以下	17 (30)	1 (0)	0 (0)		18 (30)
		計	158 (109)	13 (3)	0 (3)		171 (115)

◆逆転状況

	逆転件数	平均逆転率(%) (逆転額/予定価格)	最大逆転額(千円)
H30年度	35	0.14%	732
H29年度	49	0.08%	380

平成30年度案件抽出一覧表

(金額単位:千円(税抜))

No	工事名	種別	開札日	業種	発注機関	応札者数	落札業者名	落札者の評価点順位	落札者の入札額順位	予定価格	落札者の入札額	落札率	最低応札額	逆転額	逆転率
1	国道307号地方道路交付金工事(山北29地道交第307の5号の1の3)	技術重視型	4月11日	土木一式	山城北土木事務所	8	山川・ヤマダ特定建設工事共同企業体	1	7	203,699	183,350	90.0%	183,329	21	0.01%
2	国道178号 広域連携交付金(改築)工事(丹後30広域連携(改築)第178の1号の1の1)他1件	地域活性化型	12月7日	舗装	丹後土木事務所	17	(株)山村建設	1	13	41,196	36,426	88.4%	36,416	10	0.02%
3	管内一円(舞鶴和知線)平成30年発生土木災害復旧工事【第6166号】(中東30-30災第7299の1号の1の14)他	技術重視型	3月18日	土木一式	中丹東土木事務所	2	福岡・サクライ特定建設工事共同企業体	1	2	194,016	175,450	90.4%	175,000	450	0.23%